



今月号では、今年9月に20周年を迎えるKESカテリーナ英会話教室の代表である上田エカテリーナ氏にお話を伺いました。

KESカテリーナ英会話教室

所在地 山口市穂積町1-2リバーサイド山陽1F

連絡先

TEL 083-902-5474

受付時間は 13:00 ~ 19:00

それ以外の時間帯はホームページから
公式 LINE にてご連絡ください。

H P

<http://www.katerina-es.com/>

代表

上田 エカテリーナ



@KES_KATERINA_EIKAIWA



ホームページ



カテリーナ英会話教室
KATERINA ENGLISH SCHOOL

●来日して 25 年、英語の楽しさを伝える教室を開くまで

カテリーナ英会話教室は、今年9月に開校 20 周年を迎えます。現在の生徒数は 500 名を超えました。

私の出身はロシア(当時はソビエト連邦)です。数学オリンピックにも出場するほど算数・数学が得意だったのですが、人前で発表することが苦手でした。大学ではそんな自分を変えようと文系に転向し、言語学を専攻しました。

中学生のころに偶然出会った仏教と日本人の生き方についての本や、大学在学中に留学したフランスでの日本人留学生との出会い、安部公房の作品研究を通して、以前から日本には興味を持っていました。その後、山口県立大学大学院で全国でも珍しかったロシアの教育の研究をされていた教授の元で学ぶために来日しました。

大学院を卒業した後は、宇部フロンティア大学や山口大学教育学部附属小学校などで英語を教える機会をいただき、山口での生活が続いていきました。山口で暮らし始めてかれこれ 25 年になります。

日本で英語教育に関わるようになって感じたのは、多くの方が「英語は嫌い、難しい、話せない」と口にするのでした。大学生に英語を教えていたところ、難易度の高い文章は読めるのに、いざ「How old are you? (何歳ですか?)」と聞くと「I am ten..., eight... (私は 10..., 8...)」と上手く答えられないという場面に出会いました。英語の楽しさを伝えたい、少しでも話せるようになればいろいろな国の人とコミュニケーションが取れて、いろいろな国の文化を知ることができ、世界とつながれることを伝えたい。そう思い、20 年前に自宅で英会話教室を始めました。最初は知り合い数人を相手に始めたところ、口コミで生徒が増え、保育園に併設した英会話教室に移転し、その後さらに現在の教室へと移ってきました。



上田エカテリーナ氏

●世界に視野を広げる多様な講師との学び

教室は年齢や目的に応じて、明るく温かみのある雰囲気です。楽しく学べる幼児～小学生向けのイエロールーム、受験対策など落ち着いた環境で集中して学べる中学生以上を対象にしたグリーンルーム、一人ひとりに合わせたプライベートレッスンを受けられるホワイトルームに分けています。現在、3～12歳の生徒さんが全体の 6～7割を占めていますが、7か月の赤ちゃんから 80 代の方まで幅広く通っていただいているのが特徴です。

当校では、英語を第一言語とする国出身の先生に限らず、いろいろな国で様々な経験をした先生たちと指導しています。英語は 50 以上国で公式に使われている国際的な言語です。多くの国・地域で話されていて、それぞれの英語にそれぞれの特徴があります。日本の子どもたちにとっての課題は、英語ができないことではなく、間違いを恐れて話せない、恥ずかしくて話せないということだと感じています。いろいろな国の人と出会って様々な文化があることを学び、自信を持って話せるようになってほしいと思います。

以前、3歳の女の子が黒人の講師の手に触れて「チョコレートがついているの?」と尋ねたことがありました。小さいうちからさまざまな国の方と接することで、英語力だけでなく、自然と多様性を受け入れる力が育っていくのだと思います。「世界への扉を開く」というスローガンのとおり、生徒の皆さんには言葉の力を借りて一歩外に出て、広い世界へ視野を広げてほしいと願っています。



イエロールームでのレッスンの様子



カテリーナ英会話教室の講師陣

●オンライン・対面のハイブリッド運営、利便性を向上

コロナ禍をきっかけにオンライン対応を導入しましたが、現在も対面式とのハイブリッドで運営しています。天候や体調などそれぞれの状況

に応じて柔軟に受講環境を切り替えられる仕組みは好評です。オンライン制を導入してから、四国や北陸、東北など全国から受講される方も出てきました。また、専用アプリで受講日程の管理や欠席・振替の連絡を行えるようにしたことで、少数の事務スタッフでも運営できるようになりました。現在は外国人講師と日本人スタッフ12名の体制で運営しています。

2～3年前からは教室の雰囲気をより身近に感じていただけるよう映像制作に力を入れ、動画やSNSでの発信を積極的に行ってきました。ハロウィンパーティーや年度末の発表会、イングリッシュキャンプなど、実際の活動を映像で紹介することで、入会の検討材料が増やせたかと思えます。そのおかげか昨年度は新規入会者が150名を超えました。

●実際に「使う」から身につく、成長を実感するイベント企画

約10年前から続けている2日間をオールイングリッシュで過ごすイングリッシュキャンプでは、「英語を使う目的」を大切にしています。私たちの教室の理念は、「世界へ飛び出せる子どもたちを育てること」です。しかし、その前に、自分が育った山口や日本の魅力をしっかり知り、それを英語で世界へ発信できる人になってほしいと願っています。そのため、キャンプでは毎年山口県内のさまざまな地域を訪れ、文化・歴史・自然・食などを体験し、その魅力を英語で紹介する活動を取り入れています。お茶づくりや農業体験、地元食材を使った料理、地域の方々との交流などを通して、「山口にはこんな素晴らしい魅力がある」と自分の言葉で伝える力を育てています。もちろん、バーベキューやピザ作りなど、すべての活動も英語で行います。昨年はアルファベットのパーツを使った名前入りキーホルダー制作や、キッチンカーで英語で注文する体験なども盛り込みました。教室で学んだ英語を実際の場面で使うことで、「英語を勉強する」から「英語で世界とつながる」へと自然に変わっていくことを目指しています。

そして、もっとも大切にしているのが年度末の発表会です。2日間で保護者など計1,000人以上の方が観に来られて、生徒さんが自分で考えたスピーチや歌、劇を発表します。4歳の生徒さんは「仕事で忙しいパパ・ママと一緒に過ごしたい」という思いを英語のスピーチと歌にして発表してくれました。また、緊張のあまりパニックで言葉が出ず、ステージを下りて泣いてしまった中学生の女の子がいました。それでも彼女はあの悔しさをバネに練習が足りなかったと反省して毎日練習を重ね、翌年には自信を持って堂々と発表し、リベンジを果たしました。その姿を見て、大きな成長を実感しました。そういった成長を感じられる大切な恒例イベントになっています。



お昼ごはんのピザ作り



キッチンカーで英語での注文に挑戦



発表会の様子

●国際化に向けた企業支援にも注力

近年力を入れているのが、企業向けの国際ビジネスサポートです。英語版のホームページ制作や、店舗での接客のためのスタッフ向け英語研修、レジ横におけるマニュアル作成などを受けています。単なる翻訳ではなく、商品の価値がきちんと英語でも伝わる表現を大切にしています。

最近増えているのが、AI翻訳の確認・校正のご依頼です。例えば、あるホテルのパンフレットでは「ベッドの長さ」という表現が正確に翻訳されず、「部屋の長さ」という意味に変わっていたことがありました。こうした細かな誤りを一つひとつ確認し、修正するお手伝いをしています。



市内企業での出前授業の様子

●20周年を機に踏み出す新たな一歩

生徒数が増え、今の教室でも手狭になってきており、今年9月の20周年に合わせて、より広い場所へ移転するよう準備を進めています。将来的には英会話にとどまらず、送迎のついでに保護者も通えるような、子育てを支える複合的な学びの場〔仮称〕カテリーナ習い事ステーションも構想しています。

また、山口商工会議所青年部の活動を通じて、今年2月にあった日本商工会議所青年部全国大会では数回の審査を経てこれまでの自分の活動などについて発表する機会をいただき、女性活躍賞グランプリをいただくことができました。アジア商工会議所連合会青年部の副会長も務めており、今年5月には東ティモールの実業家団体と関係強化に向けた覚書の締結式に参加し、大統領を前に女性活躍についてスピーチする貴重な機会もいただきました。

さらに、現在は山口朝日放送の情報番組「YOU!どきっ」で「カテリーナのシャベリーナ」「カテリーナのトラベリーナ」というコーナーも担当。外国では通じない和製英語や、世界各国の文化・習慣・観光地などを分かりやすく紹介しています。海外を知ることで、日本や山口の魅力を改めて見つめ直すきっかけになればと考えています。英語は世界とつながるためのコミュニケーションツールです。教室でも番組でも、「世界をもっと身近に感じてもらうこと」を大切にし、山口の子どもたちや地域の皆さんが、自信を持って世界へ羽ばたくきっかけづくりに取り組んでいます。

大学院卒業を前に周りに進路を相談した際「外国人女性が山口で経営するのは無理」と言われました。その悔しさも、これまでの頑張りの源になっているように思います。おかげさまで多くの方に支えていただき、マニュアルもない中、ゼロから一人でのスタートでしたが、生徒数が500名を超える教室へと育ってきました。これからも、一人でも多くの人が自信を持って世界とつながっていけるように歩みつづけていきたいと思っています。